

みんなに夢を与えること。それが私の夢!



演劇ファミリー Myu
あらいはるか
新井晴香さん

「Twinkle★Twinkle は、さらに上を目指した作品」と強い想いを語る新井さん。

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ No.96

やさしい雨に打たれた紫陽花の花たちがきらきら輝いて美しいこの季節。おしゃれな傘をさして散歩をするのもいいですね!みの〜れ近くの池花池には真っ白な睡蓮が咲きはじめ、緑と白の絨毯のようできれいですよ。今回は7月5日に行われるMyuユースプロジェクト・オリジナルミュージカル「Twinkle★Twinkle」に出演する、みの〜れ住民劇団演劇ファミリーMyuのメンバーで、小美玉市羽州地区にお住まいの新井晴香さん取材します。

元気をもち帰って もらえるような 舞台に!

新井さんは東京にあるステツプアーツ専門学校の1年生で、テーマパーク&ミュージカルダンスコースに属し、オリエンタルランドのダンサーになる夢に向かって勉強中です。Myuに入るきっかけは、「小学3年生の時、おばあちゃんと舞台表現ワークショップ『光れ!』みの〜れ開館3周年記念公演に、歌のアンサンブルで出演しました。あの頃はおばあちゃんの後をつけて歩いていましたね(笑)。ちょうど夏休みで、アンサンブルで参加だったので、出番が少なく、待ち時間が多かったのですが、家で宿題をやったり、一緒に参加していた友達と手紙の交換をしていました。その時に、舞台上で出演していた中学生たちを見て、『あんなふうになりたいな』って思ったのを今でもよく覚えています。Myuデビュー

は、4年生になる年のさくらフェスティバルで公演した『こぶけやきがないている』でした。あの時は自分のセリフがちやんとあるのがうれしくて、ずっと練習したのを覚えていました。それからずっと舞台に立っています。『今回のユースプロジェクト「Twinkle★Twinkle」は、チラシ作りから、プロデュース、キャストイング、稽古内容など、自分たちで考えながら進めています。振付はプロの先生をお願いしているのだから、『こういうふうにするんだ!』とか、『こうした方がいいんだ!』って学ぶことが多い。先生は、舞台上に立つだけで、歌や芝居にもアドバイスをいただいています。』と新井さん。

「将来はプロのダンサーとして茨城に帰ってきて、活躍したいと思います。Myuの指導者として、子ども達を育てていきたいいなと。それから、Myuの子たちが私のように夢を持ってくれたらいいなと思います」と笑顔で話してくれました。7月5日は★の輝きにも負けないくらいキラキラと輝いている妖精たちとダンスミュージカルを楽しんでみませんか。そして、本物の天の川も見られますように!

公演についての意気込みを聞いてみると、「最近のMyu公演では、キャストよりも、スタッフとして参加することが多かったのですが、今回は、3年ぶりのキャスト出演で、しかも主役なので、『どんなふうに着古し

(藤田 佐知子)